

NO. 119

泉南走ろう会

神鍋高原マラソン参加について思う

卷三

この大公は在位して今回でオ十二回目となリ
また。

泉南走ろう恒例参加大会やりつでもあります
した春の篠山、夏の神鍋、秋の一庫ダムマ
ラソン大会はもうです。でもこの神鍋高原
マラソンのよう、オ十二回ともなれば泉南
走ろうより参加する人は少ない。今年も四
名です。私は冗談に言って「泉南走ろ
う会」最強のメンバーです。石橋さん、細井
さん、そして松透です。もう一人川本先生
です。この方は本当に最強です。篠山フル
マラソン、ザブスリーランナーです。この四名で

づ、と前は鹿児島走り食より十名程、参加
したことがありましたが、もうこの頃では四名
です。熱々しゃべく冷めやすいジンギンズは
一時のアーヴィングあつたが、
今、日本は働き過ぎだ。ゆとり、くつろぎ、や
すらぎがなくては、駄目だといって、週休二

日利、労働時間の短縮、連休につぐ連休となつてあります。

ない。タイへ、記録を狙つてゐる」という
かもしれないが、御期待。

なうば休日は何をするかが問題です。皆様もお気付と思われますが、月刊誌ランナーーズやシナランナーにあるようにラン大会は大繁盛です。毎月何処かでマラソン大会。そしてフルマラソンは猿山、河口湖だけでなく

今年も何故 参加するかと考うと「毎年
参加していよことだから ほな今年も参
加しようか」という本当に気恥な気持ち
からです。心のゆとり、くつろぎ・健康の
ためです。

しかし川本先生はいつも上の三人はどうなるかやからない。遊び健康のためです。

皆様も御仕事、家庭、都合で参加出来ない。これは仕方がありませんが、勝負、タイムを気にせず、飽くまでも健康を求めて、大会に参加しまし

「ハハ彼にだけは負けたくない

皆様も御仕事、家庭、都合で参加出来ない。これは仕方がありませんが、勝負、タイムを気にせず、飽くまでも健康を求めて、大会に参加しまし

皆様も御仕事、家庭、都合で参加出来ない。これは仕方がありませんが、勝負、タイムを気にせず、飽くまでも健康を求めて、大会に参加しまし



人の言うことにやがてからついて意地悪とあす者
(達) → 自分の事)

一、場所	泉南市体育館
一、例会日	七月二十八日午前九時
一、コース	皆と相談して決める 少長い距離、短い距離の 二班に分けて走る。
一、案件	秋のマラソン大会にうそ 1. オガ回吉野川20キロ、ロ ードレース(十一月四日)
口、オ一回福知山マラソン	(十一月二十三日)

市民マラソン(オリーブマラソン)への初挑戦

松井裕香

本番当日が(週間後に迫った)、家族や職場の仲間達との会話の中に“オリーブマラソン”的話題が多くなってきた。

申し込み者も(ヶ月が経ち、心積もりも)大きくなった。ただけれど、皆が私の体や特に足のことを心配してくれているのを聞くと、とても不安な気持ちになってしまった。

美容と健康のために始めたジョギングが、泉南走ろう会への入会、市民マラソンへの初挑戦と、ジョギングを始めたころには夢にも思わなかつたことが起きた。

大会当日 雨(さう)といわれていた天気が、雨(さう)が強い夏のようす
日差しが照りつけられた。

8時すぎ旅館を出発、会場入りし、緊張感がわいてきた。
今までに走ったことのない未知の距離(21.0975km)とわいえ
完走(かんそう)したいと大阪に帰れないという気があった。

9時55分花火が打ち上げられ、スタートある。真鍋さん夫婦がいよいよ走ってくれたのが、(回目の折り返しまではとても早く感じた。
ところが、8kmあたりから走れど走れど結構まづい距離にハシ
絶望を感じた。やっとハーフ地点(10.5km)着き、今まで走ってきた街並
とは違ひ景色のすばらしい海岸線にさおり、涼風がとても気持ち
よく、心が安らいた。2回目の折り返しを通過し、あと7km地点
へきた時は“完走できる”と心中でつぶやいた。

2時間19分57秒 真鍋さん夫婦といよいよ3人そろってゴールのテープ
を切った。“もう二度と走るもんか”と何度も思つたけれど、完走証
を手にした時には“また来年も”と苦しかったことなど、ふとひいて
いた。誰(だれ)かの気に付ければ“何(だれ)で走るかありますね。そのためには
“無限の可能性への挑戦”私の好きな言葉です。

